

○ 会 議 録

会 議 名	第5回まちづくり推進審議会			
開催年月日	平成28年1月18日			
開催場所	基山町役場2階会議室 202			
開閉会日時	開会	平成28年1月18日 午後3時00分		
	閉会	平成28年1月18日 午後4時30分		
出席者並びに 欠席者 出席8名 欠席1名	氏 名	出・欠	氏 名	出・欠
	相澤 直子	出	山本 拓	欠
	梁井 朱美	出	鳥飼 善治	出
	後藤 信八	出		
	羽根 洋子	出		
	石井 貞好	出		
	福田 一男	出		
	日暮 美圭	出		
会議録署名人	相澤 直子 石井 貞好 福田 一男			

平成27年度 第5回まちづくり推進審議会議事録
(要点筆記)

1. 日 時：平成28年1月18日（月） 午後3時00分～午後4時30分
2. 場 所：基山町役場2階 202会議室
3. 審議員（出席者：8名、欠席者：1名）
相澤直子、後藤信八、鳥飼善治、日暮美圭、福田一男、羽根洋子、石井貞好
梁井朱美、山本 拓（順不同）
4. 傍聴者人数 2名
5. 説明事項
基山町まちづくり基本条例の見直し提言・答申（案）について
6. 報告事項
(1) 町民提案の受付及び回答の状況
7. その他
(1) 次回開催日程について

～午後3時00分 開会～

【議事録（概要版）】

（課長の挨拶）

2. 説明事項

基山町まちづくり基本条例の見直し提言・答申（案）について

（会長）答申する段階に来ております。答申書（案）資料の説明をお願いします。

（係長）[審議会からの答申（結論）基山町まちづくり基本条例第28条に基づく条例の見直しについて、今回は条例の改正または廃止の必要なし、との結論に至りましたので、その旨ご報告いたします。2. 審議からの条例の運用上の提言として以下3項目を提言します。（1）から（3）の説明]別紙1フローチャート図の説明

（会長）条例そのものを削除、改正、付け加える等の意見は出ていませんが1つ目の報告になります。2つ目は、運用上の問題は指摘がありましたのでそれについての改善点を提示していこう。以下の3つについて審議会としての提言をお示しする。それを取りまとめた。答案を見て何か意見があればお願いします。

（委員）2番の（1）で、推進審議会での所掌事務で町民から見ての提案と要望を区分する必要はないとなりましたが推進審議会では区分して審議しますが、町の対応はこれまでと同じなのか。

（係長）まちづくり提案の様式を変えましたが申請する人に要望なのか提案なのか協働の観点からのまちづくり提案なのかを本人に選んでいただき、窓口はまちづくり課ですが要望として受けたものは担当課で内容を審議して回答してもらう。

（委員）今までと流れは変わらない。提案と要望の区分を規則上整理することもしない。

（課長）当初は要望や提案にしてもまずは住民の皆さんから出していただくことが有効ではないか、結果的には要望が多く、本来のまちづくり提案はなんなのか疑問が残る。やり方を大きく変える必要はなく住民にまちづくり提案とは何かを周知していくことが大事だと思います。要望にも種類があるので他の課とも話し合い、様式を変えるのであればまた、審議会に図りたいと思っています。

（委員）提案とは協働のまちづくりの提案で将来的にはまちづくり提案なのか要望なのか整理したほうがいい。

（委員）言葉の定義もしていかないと一人歩きする可能性もあるのでまちづくり提案と仕分けした方がよい。

（会長）今後の試みでまた、不具合があれば検討する。

（係長）まちづくり基本条例が平成23年4月に施行されて以来、協働のまちづくりの進め方の冊子もありますが協働の意味が住民に伝わってない。要望もまちづくり提案も受け、窓口で対応するとき説明していく。町民の協働に対する意識が高揚されればよいと思います。

（会長）実践例が積み重ならないと、町民に定着していないので如何に提案してもらうかがこれからの大きな課題です。

(委員) 2の(2)で関係条例等の整備をしますか、関係条例等を策定されますか。

(課長) まちづくり計画が推進されていない、まちづくり計画を実践するには財源的な支援が明確になっていない、補助金ではまちづくり基金がありますのでまちづくり計画策定団体ができるように検討していきたい。基金の条例を見直して支援するのか、まちづくり団体を支援するための補助金の規定を策定するのか現状では決まっていないのでどちらかの手法を使って支援していきたいと思っています。

(会長) これまでの議論の中で協働のまちづくり計画が出ないのは意欲がないのか、具体的な財政面の支援もイメージがわからないので計画団体が出ない原因の1つではないか。財政面も踏まえた支援の具体策をもっと検討してはと思います。

(委員) まちづくり基金の申し込みはあり、利用されていると思います。その中に協働のまちづくり提案を整理して入れることですか。

(課長) 基本的にはそうですが、まちづくり基金はまちづくり計画策定団体を支援する制度ではなくまちづくりをしていく団体を助成するものですが、それで支援するのか、新しい支援策の規定を策定するのか今は決めかねています。財政面の支援は必要なので早い時期に結論をだして整備したい。

(会長) 他にありませんか。

(委員) 情報の共有、発信は常に行政が行うのか、答申書に入れなくていいのか。

(課長) まちづくり基金を使った団体は事業の報告会をしています。補助を受けている団体だけの参加になっていたのも、今年3月末に他の団体にも声をかけ、記念講演やワークショップを開催する予定です。

(委員) 基金の交付団体は広報などにもだしていますか。報告会をしていく、まちづくり団体も補助金を受ければ報告会をする。まちづくり団体がまちづくり基金を使って活動していく。

(課長) まちづくり団体のまちづくり計画に対する支援にする。

(委員) 情報発信は改善されたと思います。町民の情報のリサーチだと思います。

(係長) 3月末に報告会をします。NPO法人、社会福祉協議会に登録しているボランティア団体などに声掛けし報告会に来ていただきたいと思います。団体の横のつながりで協働のまちづくり計画につなげることが望ましいと考えます。

(会長) 情報発信はされている。町民がキャッチすることを高めていく発信の仕方にはなっていないかもしれませんが検討していただければと思います。他に意見がなければこれで答申書とします。

報告事項

(係長) [町民提案の説明、回答の説明]

(委員) 要望・提案がでたら実施するのではなく、町を巡回するなどしてはどうか。


(課長) 要望が増えないように全庁的に十分管理していくべきと思います。



(会長) 積極的なご検討をお願いします。

～午後4時30分 閉会～

基山町まちづくり推進審議会条例第6条の規定により、ここに署名する。

平成28年 3 月 29 日

会長 (氏名) 相澤直子 

委員 (氏名) 福田一男  

委員 (氏名) 石井貞好 